

# 学生新聞

放送大学  
埼玉学習センター  
埼玉CSC交流会  
学生新聞  
編集委員会  
〒330-0853  
さいたま市大宮区  
錦町682-2  
TEL048-650-2611

## 第五回埼玉フェスタ 盛況裏に終了

第5回埼玉フェスタが、去る10月7日(金)8日(土)の両日に開催され盛況裏に終了した。

例年10月初旬の土日開催であったが、今回は大学院入試が10月9日(日)に実施された関係で、金曜、土曜の開催となった。来場者が減るのではないかと危惧されたが、ミニコミ紙や、当ビル6階の「子育て支援センター」おみやげで来場者にエコバッグを贈呈するなどの広報に努めた結果、地域の方々の来場も増え、前回以上の賑わいとなった。

第1日目の7日(金)午前には、絵手紙体験



教室、名作オペラ「サロメ」のDVD鑑賞会、初心者対象のパソコン教室、午後からは、テレビ・ラジオで活躍中の榎大輔氏の語座公演、映画「失われた週末」のDVD鑑賞会が開催された。

第2日目の8日(土)午前は、「社交ダンス

参加いただくため広報活動にも努め、ご来場を頂きました。公開講演会・「世界からみる日本の教育」(二宮皓 放送大学副学長)、語座公演・読み語り、芥川龍之介作『羅生門』、山本周五郎作『路問答』は、講堂が満員の盛況でした。両講師との質疑応答の時間を用意しました。十分でなかったことを反省しました。恒例の交流パーティは目的を達成したと自負いたしました。

を体験しよう、午後は、健康体操、オカリナ演奏会、二宮副学長による「世界からみた日本の教育」の公開講演会が行われた。

2日間共通イベント 2日間を通して、学生、同窓生等の絵画、写真、書道その他の作品の展示会、バザー、サークル活動の紹介、茶席コーナーの設置等多彩なイベントが行われた。

フェスタのイベントがすべて終了した後、賛助券所持者の交流パーティが開催された。プロの奏者によるアコーディオン演奏、川柳大会表彰等多彩な趣向の企画があり、二宮副学長にご参加いただき、年に1回の教職員同窓生、学生が一堂に会した交流を楽しんだ。56人の方々に実行委員としてフェスタの運営に協

力していただいた。また、運営経費に充当する賛助券は一五四枚の購入をいただいた。フェスタは年に一度のお祭りであり、次回ももっと大勢の方々の参加、来場を期待したい。

### 大学コンソーシアム さいたま設立

去る10月26日(水)、さいたま市内や近隣の12大学(埼玉大学、埼玉県立大学、浦和大学、共栄大学、慶応義塾大学薬学部、日本大学法学部、芝浦工業大学、聖学院大学、人間総合科学大学、目白大学、国際学院埼玉短期大学及び放送大学埼玉学習センター)が知的資源を活かして連携し地域社会に貢献することを目的に「大学コンソーシアムさいたま」が設立されました。今後、各大学と連携した公開講座や様々な

### 学生研修旅行

平成23年度の学生研修旅行が、去る11月10日(木)に実施されました。今年度は、菅野所長プロデュースによる、三富開拓地(三芳町)、小江戸川越散策と高麗の里の史跡を巡る旅行で、所長の専門分野(人文地理学)を生かしての分かりやすい説明や資料の豊富さに参加者も感激した1日でした。

### 学生募集

平成24年度第1学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を左記の日程で行います。

### オープンキャンパス(大学説明会)

平成24年度第1学期入学者向けのオープンキャンパス(大学説明会)を左記の日程で実施します。(在学生も参加できます) 開催日 平成23年12月10日(土)、平成23年12月25日(日)、平成24年1

### 探訪コーナー第十五回 文京学習センター

今回は十月に新装開校した文京学習センターを訪問した。校門から国際会議場を思わせるような屋根付きのアプローチがあり、玄関を入ると、面接授業等の講義室を案内する電光掲示板が目につく。 玄関に続く広いロビーを抜け二階に上がると放送大学フロアとなる。所長室で、桂井センター所長と馬場事務長からお話を伺うことができた。新しく生まれ変わったセンターは講義室が増えたことにより、面接授業科目数が倍増でき、受講学生数も倍増している。 学生満足度の上昇に対する学長表彰、学生応募数の増大に対する理事長表彰の二つを受けられたそうである。事務量がが増えて大変であるが、今後さらに充実していきたいと抱負を述べられていた。地下鉄茗荷谷駅から徒歩3分という地の利があるので全国の学生に訪れてもらいたいとの事であった。その後、馬場事務長に校舎を案内していただいた。建物は筑波大学との合築によ



る地下1階、地上6階建ての建物で、放送大学は地階・2階・3階を主に使用しているとのことである。中庭があること、通路と講義室はガラスで仕切られていることもあって、明るく開放的なイメージになっている。 地階の多目的大講義室は、可動式椅子の白さがまぶしかった。図書館は筑波大との共用ということで蔵書も多く、法学や心理学の資料が特に充実しているとのことである。とにかく明るく、どこに行っても窓から差し込む緑にさわやかさが感じられる校舎であった。 帰りがけ、すれ違った学生さんに感想を聞いたところ「こんなに素敵な校舎で学ぶことができ、とても幸せです」との返事が返ってきた。(今福・森岡・若松)

### インタビュー 笹原誠二さん

今回は去る9月、4回目の卒業をされ生涯学習奨励賞(銀賞)を受賞された、笹原誠二さんに伺いました。

#### Q 放送大学への入学経緯と

平成14年、定年退職後の生涯教育の一環として放送大学へ入学しました。入学してすぐに「サークルおみやげ」に入会したら、同年輩の人が多く、毎月方向的な講義を受けるだけでは

#### Q 放送大学で学ぶ際のコツは

放送大学というだけで、ただテレビやラジオの放送だけのイメージですか。 何でも自分でQOLを維持して

#### Q 今、自分で一番留意されて

います。 速「肺炎球菌のワクチン接種」

#### Q 今、自分で一番留意されて

います。 速「肺炎球菌のワクチン接種」

### 学生手帳

「スポーツ観戦」 その2 私はスポーツ観戦が大好きだ。自分でも学生の頃から、排球部に属し、合宿、遠征や試合などで

転戦する日が数年続いた。それでもさすがに30歳を過ぎると、激しいスポーツから自然と足が遠のき、もっぱら球場やテレビでのスポーツ観戦が主となった。

娘と二人、後楽園球場でビール片手に巨人軍の試合を見たり、妻を誘って国立競技場でサッカーの試合の観戦に出かけたこともある。サッカーの試合もJリーグが発足し、日本がワールドカップに出場した時は、試合の組み合わせ、日程、出場国の特徴を書いた案内書を購入して、試合の都度、一生懸命妻にルールを説明しながら、テレビの前で応援していた。

最初のころは、オフサイドやペナルティキックの意味もわからなかった妻が今では日本代表の試合となると、テレビの前

に座り込んで、試合の経過に一喜一憂している姿を見ていると、「これでよかったのかな」と不思議な気分だ。この頃は二人して、なでしこジャパンや女子バレーボールの国際試合での活躍をテレビ観戦するため、スポーツ放送の番組をチェックしている毎日である。

笹原誠二



(文責 若松)

# 投稿コーナー

## 山恋 (三)

四倉光

山好きな課長

仕事の関係で転勤した先の課長が山好きであり、課の懇親旅行と言えば山奥の温泉、山行の

ためといえは有給休暇を大目に見てくれました。課長におべっかを使い山に耽溺した恵まれた数年間は懐かしく思い出されます。

新雪の武尊山

武尊山は昔から信仰の山であったことは、最高峰の頂に御岳大神の碑があったり、剣が峰の頂に霊神が祀ってあることなどから察することが出来ます。この日は山頂で新雪にあり、普段は俗臭にまみれている私が真白な雪により身も心も清められ、すがすがしい気分で過ごした山行でした。

白馬岳の清流

山の一角に残雪の消えた跡が馬の形をしていると言われる白馬岳で、大雪溪やお花畑を愛でながら好天に恵まれて山頂を目指しました。山頂の小屋に近づくと登山道に網が張られ立ち入り禁止となっていました。その奥の流れで喉をうるおし、勢いを得て登り続け山頂直下の山小屋にやっとたどり着きました。

駒ヶ岳

日本地図を眺めていたら駒ヶ岳という山名がいたるところにあり、それではということになりついに会津駒ヶ岳と木曾駒ヶ岳です。

## 看護師の皆様へ

看護(学)の取得・認定心理士の資格取得を目指す。資格取得で、得などを目標として勉強しています。看護士の皆様、是非ご参加下さい。平成24年11月15日(日)14時、16日(火)12月1日(木)まで。お申し込みは、お電話またはメールにて。お問い合わせ先は、お電話またはメールにて。お申し込みは、お電話またはメールにて。



駒ヶ岳です。

会津駒ヶ岳・松枝岐から登った。駒ヶ岳の由来は、深田久弥によると残雪の山全体を駒が走る勢いに見えるのが山名の基になったと言っています。尾瀬の登山からの駒ヶ岳は長い山稜を持った尾根の長い穏やかな山です。

木曾駒ヶ岳・中央アルプスの最高峰で、山名の由来は伊那側から見て黒駒の姿が残雪中に現われているからと言われている。山頂付近には美しいお庭が広がっていました。

薬師岳の敗退

敵とした気品をそなえ重量感のあるドッシリとした薬師岳の山容に魅せられて太郎兵衛平から薬師岳を目指したが途中で道を間違え沢に迷い込み、とうとうニッチもサッチもゆかなくなり登りを断念して、来た道を引き返し、自棄になって山麓の温泉に二泊し惨めな気持ちで下山しました。準備と注意力の不足をしみじみと感じさせられた山行でした。

終わりに

登山は厳しいものです。山は油断をすれば厳しい壁となつて立ちほだかかります。しかし、厳しければ厳しいほど頂上に達したときに素晴らしい眺望と達成感が待っています。登山も人生も似たようなものかなと思えます。登山を趣味とすることで私の人生が少し豊かになったような気がします。(完)

## おくのほそ道 あちろちろ (四)

若松 豊

封人の家

10月の末、越谷の「声を出して古典を読む会公開講座」の仲間とバスで宮城県の尿前川の関から山形の山寺へと『おくのほそ道』を辿る一泊二日の旅をした。この講座の主宰は加藤雅喜先生で、先生との出会いは平成17年12月に開催された県立春日部工業高校の公開講座に遡る。その後先生は越ヶ谷高校に転勤されたが、同校でも公開講座を続けられ、さらに、先生が同校を退職された後も引き続き越谷中央市民会館を会場にして、年2回各5日間の自主公開講座として開催されている。私を含めて、先生の魅力に魅かれて多くの仲間が春工以来の受講生である。そして、この公開講座のほかに、お正月早々の江戸歴史散歩や随時のバス旅行なども楽しみの一つになっている。

尿前の関

尿前の関に着いたときは雨だった。国道47号からそれて車も通れないような狭い旧道を少し入ったところに関所跡があった。近年建てられた柵のような門と解説板があった。もちろん建物は残っていない。道から少し下ったところにある礎石がわずかに建物の位置を示しているだけである。芭蕉たちは出陣形を持っていなかつたため、厳しく尋問されて難渋したと記している。



封人の家

## 深谷散策 未来の会

東京駅をモチーフにして作られた深谷駅が集合場所です。顧問の黒沢先生を始め17名の方が集まり3台の車に分乗、誠之堂・清風亭、日本煉瓦資料館、渋沢栄一記念館をめぐる予定です。



誠之堂は、渋沢栄一の喜寿の祝いに、当時の第一銀行の有志によって建築されたレンガ作り

誠之堂は、渋沢栄一の喜寿の祝いに、当時の第一銀行の有志によって建築されたレンガ作り。モダンな建物でした。清風亭とともに、東京世田谷に第一勧業銀行の所有としてありました。取り壊しの危機にあつたものを平成11年に深谷に移築されました。解体、移築の際にレンガに「上敷免製」の刻印が見つかり、深谷で焼かれたレンガであることが確認されたそうです。平成15年、国の重要文化財に指定されました。

日本煉瓦資料館は、日本煉瓦製造(株)の事務所だった場所です。今は資料館として一般公開されています。運よくこの日は一般公開日にあたっていました。最盛期には6基の窯があつたそうです。水運に使う利根川に近く、レンガ用の良質な粘土が採れたこともあり、深谷で作られたレンガは当初、川から船で、のちには鉄道で東京に運ばれました。明治の代表的な建築である司法省、東京駅、日本銀行などに使われました。

午後には趣を変え、深谷近郊の寺巡りとなりました。利根川を渡り、群馬県太田市にある縁切り寺の「満得寺」、埼玉に戻り熊谷市の「能護寺」(アジサイで有名)をお参りしました。

埼玉北部の熊谷は日本の女医第一号荻野吟子の出身地です。未来の会では学びの旅をこれからも続けたいと思います。(増田、福島記)

## サークル案内

サークルおみや 1月6日(金)「新年会」場所、集合時間などの詳細は、幹事まで 2月9日(木) 「次年度の活動計画と役員体制」策定 午後1時より学習センター 講義室にて 3月17日(土) 「サークルの総会」 午後1時より学習センター 講義室にて 1月10日(火) 勉強会 テーマ未定 PC学習会 毎週火曜日(第2火曜日を除く)

健康体操研究会 10月8日(土)の健康体操イベントには、たくさんのご参加、ありがとうございました。健康体操の健康パワーが、少しでも伝われば、幸いです。 今後の定例会は 11月29日、12月6日、13日、20日。 1月は、試験月の為お休みです。 なお、12月20日は、フェスタの打上と新会員歓迎です。

同窓会 11月13日(日)、同窓会恒例の見学旅行がありまして。行き先は大宮盆栽村で村内散策の後、盆栽美術館と県立博物館に立ち寄りました。盆栽美術館では盆栽園の園主が直接説明してくださり、長年丹精を込めて作り上げた絶品を鑑賞することができました。博物館では、埼玉県内に残された円空の木彫り仏像が沢山展示されていました。

## 編集後記

〇このところめっきり冷え込んで北風が身にしみる季節になりました。 〇第18号は1月下旬発行予定です。詩歌、随想など皆様の投稿をお待ちしています。

## 俳句・川柳

露けしや向井去来の墓のあと 十詩 川柳 赤とんぼ群れて信濃の風となる 春江 三面の露座仏覆ふ草紅葉 光娥 鉢山の麓にそよぐ蕎麦の花 とく江 (つみ草)

川柳 赤とんぼ群れて信濃の風となる 春江 三面の露座仏覆ふ草紅葉 光娥 鉢山の麓にそよぐ蕎麦の花 とく江 (つみ草)